

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

施設名 山梨県立育精福祉センター成人寮
 所管課 福祉保健部 障害福祉課
 指定管理者 社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会

1 指定管理者の推移

導入年度	平成25年度			
指定管理者名	出資法人	指定期間		委託料総額 (単位:円)
社会福祉法人 山梨県手をつなぐ親の会		H25.4.1	～ H30.3.31	5年
社会福祉法人 山梨県手をつなぐ親の会		H30.4.1	～ R4.3.31	4年

2 施設の概要

所在地	南アルプス市有野3303-2
設置年月日	昭和47年4月1日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立障害者支援施設設置及び管理条例
設置目的	知的障害者に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図るため。
主な業務の内容	(1)施設等の維持保全に関する業務 ・施設及び設備器具の維持保全に関する業務を行う。 (2)利用者に対する障害福祉サービス業務 ・生活介護、短期入所及び施設入所支援に係る業務を行う。
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積:79,970㎡(児童寮を含む) ○建築延面積:3,236.11㎡ ○建物の構造:鉄筋コンクリート造平屋建、鉄骨造 ○施設の内容 ・成人一寮棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 1,312.60㎡ ・成人二寮棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 1,429.65㎡ ・療育棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 342.60㎡ ・管理棟及び車庫の一部 151.26㎡ ○各障害福祉サービス定員 ・生活介護:105人 ・短期入所:9人 ・施設入所支援:90人
備考 (改築工事等の状況、一括管理施設等)	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
収入合計	436,774,391	448,053,859	446,510,055	459,724,091	460,107,080	
支出合計	422,240,586	441,383,025	453,411,794	426,808,420	519,689,880	
収支差額	14,533,805	6,670,834	△ 6,901,739	32,915,671	△ 59,582,800	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用実績	202人	208人	225人	205人	207人	障害福祉サービスの月平均利用者数の計
利用者満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和3年度)

当施設の利用者は、強度行動障害など重い障害を持った方が多く、健康維持、安全安心、自律的生活においてきめ細かな配慮が必要であり、「摂食・嚥下チェック」を行い、状況の表示や、一人ひとりの食事形態と食事提供について再確認を行った。また、併せて身体機能の維持や精神的安定を図るために、乗馬療法、音楽療法、リハビリ等、行動障害を軽減する活動などを取り入れ、日常支援を行った。

利用者数は、生活介護105名、施設入所支援91名、短期入所契約者11名であり、稼働率101.5%(前年度100.5%)と高い水準を維持した。

施設の維持・保全については、今年度も5件以上の補修を行い、利用者の生活環境の向上に努めた。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和3年度)

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中で、感染防止対策を徹底し、施設の維持管理や利用者へのサービスの提供を適切に行っている。

本施設は、障害者入所施設であり、施設内感染が拡大すると、利用者の健康や施設の運営等に甚大な影響が生じる恐れがあることから、職員や利用者への早期のワクチン接種を呼びかけるとともに、感染が拡大した時期には職員に原則として週1回のPCR検査を行うよう要請し、感染拡大防止を図った。また、職員や利用者に感染疑い生じた場合に、直ちに状況を報告させ、陽性が確認された場合には必要な対応を指示することとした。

また、利用者満足度調査の結果、「満足・どちらかといえば満足」の割合が94%と高い水準を維持しており、利用者の立場に立った支援を行っている。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和3年度)

基本的な感染対策や早期のワクチン接種、職員のPCR検査を実施した。また、また、感染疑いが生じた場合に直ちに関係機関に連絡することとした。結果、新型コロナウイルス感染症の影響が施設内に広がることや、運営に大きな支障が生じることもなく、利用者へのサービスの提供を継続することができた。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

施設名 山梨県立育精福祉センター成人寮
 所管課 福祉保健部 障害福祉課
 指定管理者 社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会

1 利用状況 (単位:人、%)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数	生活介護	101	104	108	104	105
	短期入所	11	16	26	12	11
	施設入所支援	90	88	91	89	91
	利用者数合計	202	208	225	205	207
	目標値	204	204	204	204	204
	実績/目標割合	99.0%	102.0%	110.3%	100.5%	101.5%
	目標値の設定方法	定員を目標値とする。				
利用率	稼働率等(利用率)	99.0%	102.0%	110.3%	100.5%	101.5%
	稼働率等(利用率)の算定方法	利用者数/施設の利用定員				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・あゆみの家:自立訓練(通所 20人、夜間 20人)、短期入所(2人) ・梨の実寮:生活介護(52人)、就労移行支援(6人)、就労継続支援B型(12人)、施設入所支援(50人)、短期入所(6人) ・あさひワークホーム:生活介護(38人)、就労移行支援(8人)、就労継続支援B型(34人)、施設入所支援(40人)、短期入所(5人) ・あけぼの医療福祉センター成人寮:生活介護(45人)、自立訓練(機能訓練)(15人)、施設入所支援(40人)、短期入所(15人)
----------	--

3 補修工事等の状況(令和3年度) (単位:円)

県	トイレ手洗い自動水栓整備工事(あけぼの医療福祉センター成人寮、育精福祉センター児童寮と併せて実施)	4,345,000
管	建物防水修繕工事	693,000
管	建物床工事	423,500
管	PC環境修繕工事	283,800
管	ボイラー等修繕工事外2件	1,006,328

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施
 *ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和3年度) (単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

5 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入	A 収入額計	436,774,391	448,053,859	446,510,055	459,724,091	460,107,080
	施設利用料	436,281,779	447,474,580	446,050,786	450,373,225	458,682,450
	指定管理委託料					
	施設整備等国庫補助金				9,066,000	
	その他	492,612	579,279	459,269	284,866	1,424,630
支出	B 支出額計	422,240,586	441,383,025	453,411,794	426,808,420	519,689,880
	人件費	297,729,736	311,385,627	324,105,131	296,868,460	289,867,294
	修繕費	1,326,600	322,142	122,607	1,004,034	2,406,628
	光熱水費	17,746,713	20,558,793	19,246,606	16,468,867	19,999,947
	給食費	56,059,094	59,730,701	60,521,622	62,469,618	62,577,783
	消耗器具備品費	2,531,336	1,619,144	1,530,121	1,739,536	1,531,122
	日用品費	2,599,832	2,413,108	2,464,743	3,362,046	3,588,970
	手数料	587,890	390,183	400,624	169,015	219,258
	事務消耗品費	1,464,119	1,076,785	4,316,791	2,169,033	2,957,479
	教養娯楽費	1,844,112	1,285,251	1,266,175	237,709	200,910
	福利厚生費	1,135,865	1,123,200	1,274,504	1,610,656	4,115,664
	職員被服費	19,849				
	車両費	486,495	683,768	558,682	605,129	672,369
	通信運搬費	788,346	855,816	777,510	870,042	856,446
	介護用品	654,434	699,713	733,870	755,350	735,595
	保健衛生費	1,077,683	1,207,191	1,507,641	1,345,551	1,166,578
	保険料	864,048	761,157	840,309	748,530	666,301
	賃借料	5,388,374	5,816,120	5,413,302	3,241,884	3,241,881
	研修研究費	1,073,418	1,132,572	737,850	142,973	111,511
	保守料	1,411,052	1,415,620	1,603,800	1,457,010	1,946,269
	その他	15,415,282	14,063,508	12,564,390	19,077,642	110,233,915
	外部委託費	12,036,308	14,842,626	13,425,516	12,465,335	12,593,960
	会計委託料			134,255	110,000	110,000
	廃棄物委託料	1,385,705	1,391,104	1,745,317	765,442	791,090
	機械設備等	10,650,603	13,451,522	11,545,944	11,589,893	11,692,870
外部委託比率	2.9%	3.4%	3.0%	2.9%	2.4%	
県への納付金						
収支差額(A-B)	14,533,805	6,670,834	△ 6,901,739	32,915,671	△ 59,582,800	
一人当たりの収入額*	2,162,249.5	2,154,105.1	1,984,489.1	2,242,556.5	2,222,739.5	

* 収入額計÷利用者数(単位:円)

(参考) 自主事業に係る収支状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
C 収入額計	717,893	8,983,220	9,014,830	8,174,300	8,102,190
D 支出額計	1,955,232	11,047,062	10,013,316	9,233,874	8,980,077
収支差額(C-D)	△ 1,237,339	△ 2,063,842	△ 998,486	△ 1,059,574	△ 877,887

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

6 利用者満足度

実施方法等	実施期間: 令和4年1月15日～1月31日 調査方法: 利用者へのアンケート 回答数: 97人			
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
相談・要望対応	51.0%	41.0%	7.0%	1.0%
プライバシー	62.0%	30.0%	7.0%	1.0%
食事	63.0%	30.0%	5.0%	2.0%
入浴・身だしなみ	66.0%	31.0%	3.0%	
健康管理	82.0%	14.0%	3.0%	1.0%
買い物・外出	36.0%	40.0%	20.0%	4.0%
居住	52.0%	42.0%	5.0%	1.0%
施設全般	55.0%	39.0%	6.0%	
施設全般の満足度	55.0%	39.0%	6.0%	
利用者の主な意見	①面会や外泊をしたい。家族に会いたい。 ②外出や旅行・食事に行きたい。 ③コロナ禍、子供たちをよく見ていただいて有難い。(通所養護者からの意見) ④坂が無ければ良い。寮のスピーカーを直してほしい。花を植えてほしい。部屋が寒い。風呂がぬるい。 ⑤食事が気に入らない。みそ汁を毎日飲んだり、果物を食べたい。 ⑥ユーチューブが見たい。			
利用者の意見への対応	①コロナ禍、面会・帰省に制限をかけることが多くありましたが、感染者数が少なくなった年末・年始には帰省してもらいました。面会につきましては、通年、窓ガラス越しではありますが、行っていただきました。 ②コロナ禍で計画していた旅行や外出が出来ませんでした。コロナ禍が収まり次第、新たな計画を立てて実施していきます。 ③引き続き、感染症対策を継続し、利用者さん・養護者さんに喜んでもらえるよう取り組んでいきます。 ④坂を怖がる利用者さんには、杖を使ってもらい、歩行の安定を図りました。花は適宜、植えました。部屋の寒さと、風呂のぬるさはに付いては調整しました。 ⑤嗜好調査を行い、可能な限り、利用者さんの好まれるメニューに近づけるよう努めました。 ⑥適宜調整を行い、改善していきます。			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

7 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>利用者の安全、及び生活環境の向上を図るため、建物の床の修繕、防水工事、ボイラーの修繕など適宜実施した。また、災害に備え、火災通報装置の点検や修繕にも取り組んだ。</p> <p>機械・設備などの法定点検をはじめ、維持管理業務全般については業務仕様書などにに基づき、きめ細かな業務の遂行に努めてきた。</p>	<p>法定点検等、施設の維持管理業務が事業計画に基づき適切に実施されているほか、施設や設備の修繕も積極的に実施されている。</p>
運営業務	<p>当施設の利用者は、重い知的障害や行動障害、発達障害等があり、さらに、近年は高齢化が進み、身体介護の必要な者も増えているため、個々の状況やニーズに合わせ、必要な支援や活動(作業活動、余暇活動、音楽療法、乗馬療法、歩行、リハビリなど)を提供した。また、事業計画に基づいて支援を実施し、生活の質の向上に努めた。</p> <p>職員確保が困難な状況であることが課題となっている。</p>	<p>個々の利用者に寄り添い、障害の特性や状況に即した支援を実施している。</p> <p>県職員の派遣が令和4年度で終了するため、様々な機会を活用するなど採用活動を積極的に行い、適正なサービスの提供が維持できるよう、人材の確保に努めること。</p>
利用状況	<p>利用者数は、生活介護105名、施設入所支援91名、短期入所11名であり、稼働率は、101.5%(前年度100.5%)となった。</p> <p>短期入所においては、利用者数が昨年度を下回り、例年の3割程度であるが、いずれも新型コロナウイルス感染症の影響により、受け入れを制限したことによるものと考えられる。</p>	<p>利用率は従前から高い水準となっている。</p> <p>短期入所の減少は、新型コロナウイルス感染症対策とした受け入れの調整による影響もあるため、感染状況を注視しながら、可能な範囲で短期入所の受け入れを拡大していくこと。</p>
収支状況	<p>収入は、生活介護や施設入所支援においては新型コロナウイルス感染症のため帰宅者数が減って増収となった。</p> <p>また、今年度は将来の施設設備の修繕等に向けた基金の積み立てを行った。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、可能な範囲で短期入所の受け入れを拡大していくこと。</p> <p>施設の修繕等は、県と協議しながら計画的に実施していくこと。</p>
自主事業	<p>自主事業は、市町村の委託事業としての日中一時支援と、共同生活援助(みつとホーム)がある。</p> <p>前者は、新型コロナウイルス感染症対策として、利用制限を行った。</p> <p>共同生活援助については、事業計画どおりに適切な運営に努めた。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の施設内での感染防止の観点から、一定の利用制限はやむを得ないと考えられ、概ね適正に実施されている。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

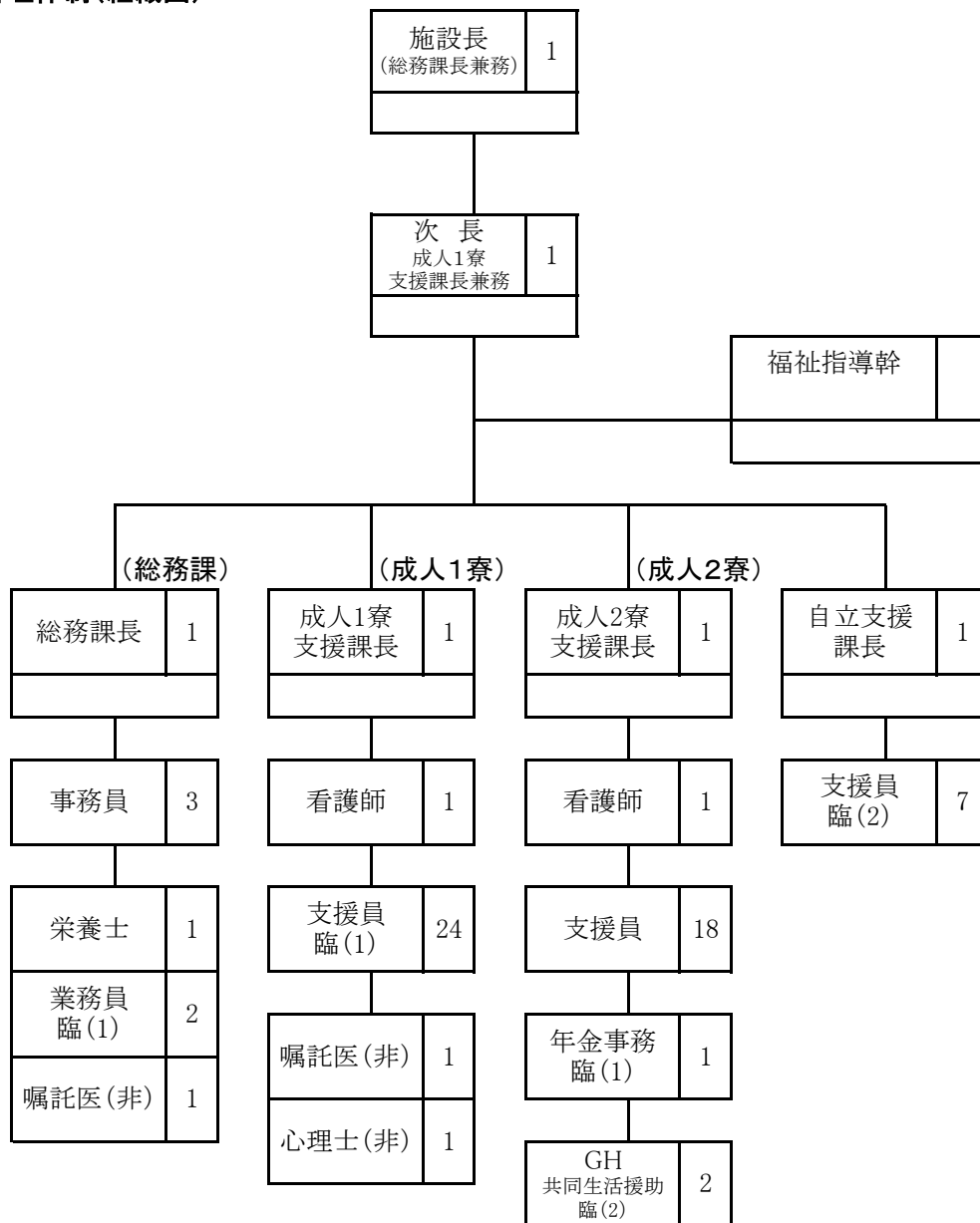
<p>利用者満足度</p>	<p>利用者満足度調査は、個人の記入又は職員の対面での聞き取りにより実施した。施設全般の満足度は、「満足・どちらかと言えば満足」との回答が94%であった。</p> <p>障害の特性から、意思表示がうまくできない方が多く、利用者の思いや、意向、要望を感じ取ることに注力し、一人ひとりのニーズを大切に受け止めた支援に心がけた。</p>	<p>調査の結果から、利用者の施設全般の満足度は高くなっている。</p> <p>一方で、「買い物・外出」については、前年度と「不満」、「どちらかと言えば不満」の割合が大ききは改善していないが、これも新型コロナウイルス感染対策により、例年と比較して制限があったことによるものであると考えられる。今後の感染状況の推移を見ながら、改善を図っていくこと。</p>
---------------	---	---

8 施設所管課による定期評価結果

<p>施策推進業務の内容</p>	<p>評価</p>	<p>改善内容</p>
<p>施設利用者の満足度向上のための取組み</p>	<p>利用者満足度調査結果の「施設全体の満足度」における「満足・どちらかといえば満足」の割合を評価指標として、目標値を80%と設定。</p> <p>ケース会議や職員会議等における調査結果の共有や利用者への丁寧な説明等を行い、「満足・どちらかといえば満足」の割合が94%となって、目標を達成した。</p>	<p>満足度調査結果の分析や、職員による検討会を行う等、引き続き利用者の要望に可能な限り対応すること。</p>
<p>感染症対策</p>	<p>本施設は入所施設であることから、施設内に感染が拡大すると、利用者の健康や施設の運営等に甚大な影響が生じる恐れがあるため、職員や利用児への早期のワクチン接種を呼びかけるとともに、感染が拡大した時期には、職員に原則として週1回のPCR検査を行うよう要請した。</p> <p>PCR検査検体の提出日における提出割合を評価指標とし、目標値を100%に設定。</p> <p>結果、提出割合が100%となったこと等により、施設内での感染拡大は発生せず、運営に支障を来すことはなかった。</p>	<p>今後のワクチン接種等の状況の推移を見ながら引き続き感染対策を実施していくこと。</p> <p>また、感染者が発生した場合の対応内容について、確認しておくこと。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

9 管理体制(組織図)



施設長	1 人
次長	1 人
福祉指導幹	0 人
課長	3 人
一般職員	53 人
臨時・非常勤職員	10 人
合計	68 人

(パート職員除く)